

つがる市胃がん撲滅検診事業

ピロリ菌の検査と除菌治療のおすすめ

ヘリコバクター・ピロリ菌の

早期発見と除菌による胃がん予防事業

ピロリ菌を検査で早い段階で発見して、除菌で萎縮性胃炎発症の可能性を阻止することは、確実に胃がんのリスクを減らすことになります。

検査と除菌費用は無料!!

対象者は、

年度内に20~39歳になられる方です。

ただし、対象年齢であっても、下記の方は対象外となります。

- ・食道、胃、十二指腸の疾患が疑われる自覚症状のある方
- ・胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎など治療中の方
(ボノプラザン(タケキャブ)、オメプラゾール(オメプラール、オメプラゾン)、ランソプラゾール(タケプロン)、ラベプラゾール(パリエット)、エソメプラゾール(ネキシウム)、キャブピリン、タケルダを内服中の方 または 2週間以内に服用していた方)
- ・過去にピロリ菌の除菌療法を受けた方
- ・胃がん撲滅検診を受診したことがある方

◆お申し込み方法 ~ ①又は②のどちらかの方法でお申し込み下さい。

① 健康推進課に電話で申込み下さい。 ☎ 23-4311

② 下記の【ピロリ菌検査申込書】で申込み下さい。

受付場所：健康推進課（市民健康づくりセンター内）、稻垣・車力出張所、すまいいるプラザ（イオンモールつがる柏内）

き-----り-----と-----り-----せ-----ん-----

【ピロリ菌検査申込書】

住 所	〒 つがる市		
氏 名			
生年月日		電話番号	

◆事業の流れ

希望者に採便キット送付



自宅で採便後、検査機関に直接郵送

ピロリ菌感染診断(便中ピロリ菌抗原検査)

ピロリ菌が
いない
場合

終了



ピロリ菌が
いる
場合



事前予約制

《つがる市民診療所
電話予約 (14:00~16:30)》

診療と血液検査(ピロリ菌抗体、胃粘膜の萎縮の検査)・胃カメラ検査

(診療日及び診療時間:
月曜日~金曜日の午前9時から)

一次除菌療法



1種類の「胃酸を抑える薬」と2種類の「抗菌薬」の合計3剤を同時に
1日2回、7日間服用します。

(3ヶ月以上あけます)

ピロリ菌が
いない
場合

除菌成功

ピロリ菌が
いる
場合

除菌不成功

除菌療法が終了した後、もう1度検査を実施して、ピロリ菌が除菌
できたかどうかを確認することが大切です。

二次除菌療法



一次除菌療法と同じ「胃酸を抑える薬」1種類と、「抗菌薬」1種類、一次除菌療
法とは別の「抗菌薬」1種類の合計3剤を同時に1日2回、7日間服用します。

除菌の判定検査

ピロリ菌に感染するとどうして胃潰瘍や胃がんになるの？

ピロリ菌は、主に幼年期までに経口感染すると考えられています。感染経路としては、衛生環境が疑われています。感染したからといって、潰瘍や胃がんが必ず発症するわけではありません。

しかし、感染した人はほとんどの人に胃炎が起こります。除菌しないかぎり、ピロリ菌は胃の中に住み続け、慢性的に炎症が続きます（慢性胃炎）。

慢性胃炎では、胃の粘膜を防御する力が弱まり、ストレスや塩分の多い食事、発がん物質などの攻撃を受けやすい無防備な状態となります。つまり、ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍、胃がんを起こしやすい下地をつくってしまうわけです。

